サポート情報記事

Employee Directory、Organizational Chart、Employee Details の比較: どの Vitextra 従業員向け製品を選ぶべきか

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

各製品の役割 4

比較表 5

どの製品を選ぶか 7

1 つのイントラネットでの組み合わせ 8

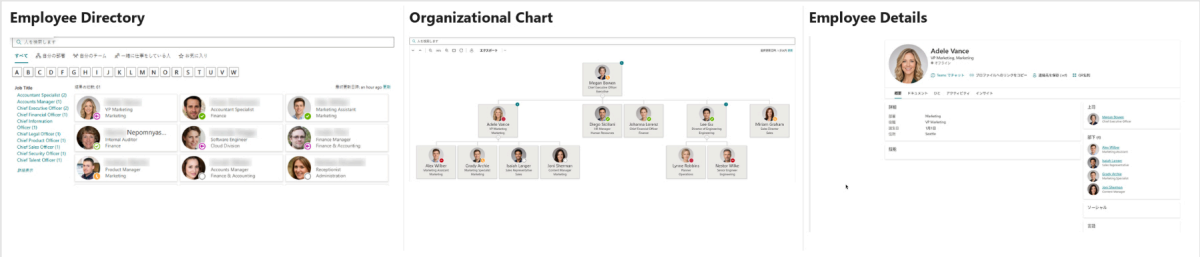
Microsoft 365 の組み込みツールとの違い 9

用語 12

概要

Vitextra は、組織が **Microsoft 365** ですでに管理している従業員データを活用する 3 つの製品を提供しています: Employee Directory、Organizational Chart、Employee Details です。3 つとも **Microsoft Graph** を通じて **Microsoft Entra ID** からユーザーデータを読み取り、写真と **Microsoft Teams** のプレゼンスを表示し、**SharePoint Online** のページで動作します。ただし、答える問いはそれぞれ異なります。

- **Employee Directory** - *「必要な人は誰か?」* 人を探すための製品です。同僚の一覧を検索、**絞り込み**、閲覧できます。
- **Organizational Chart** - *「会社はどのような構造になっているか?」* 誰が誰の部下かを対話型のツリーで表示します。
- **Employee Details** - *「この人はどんな人か?」* 1 人の従業員を個人ページで詳しく表示し、従業員が自分のプロフィールを管理できるようにします。



Employee Directory、Organizational Chart、Employee Details

各製品の役割

Employee Directory は、検索できる同僚の名簿です。ソリューションには 3 つの Web パーツが含まれます: **Employee Directory (SharePoint** 検索による SharePoint **ユーザー プロファイル**、または Microsoft Entra ID のユーザー)、**Employee Directory (Entra ID)** (Microsoft Entra ID の全ユーザーの一覧。視覚的なフィルターエディター、除外設定、アルファベット順ナビゲーションを備えます)、**New Employees** (最近アカウントが作成されたユーザー) です。ユーザーは検索ボックス、絞り込みパネル、クイック フィルター **自分の部署**、**自分のチーム**、**一緒に仕事をしている人**、**お気に入り** で一覧を絞り込み、ユーザーを選択して詳細ウィンドウで簡潔なプロフィールを確認し、**Excel にエクスポート** で結果を書き出せます。詳しくは KB10064. Employee Directory の概要: Web パーツ、SPFx、Microsoft Graph を参照してください。

Organizational Chart は、Microsoft Entra ID のユーザーの **上司** 属性から会社の階層を自動的に作成します。**全社** モードでは組織全体を、**特定のユーザーに報告する従業員** モードでは 1 つのチームだけを、横方向のツリーまたはコンパクトな縦方向のリストで表示します。閲覧者は枝を展開・折りたたみ、拡大縮小、検索を行い、**自分を検索** で自分の位置を確認し、組織図を PDF または JPEG にエクスポートできます。詳しくは KB10232. Organizational Chart: ソリューションの概要 を参照してください。

Employee Details は、1 人の従業員の完全な個人ページを作成します。プレゼンスとクイック アクションを備えたプロフィール ヘッダー、詳細、スキル、空き時間、上司、直属の部下を表示する「概要」タブ、さらに「ドキュメント」「プロジェクト」「インサイト」などの最大 8 つのタブがあります。自分のページでは、従業員がスキル、言語、ソーシャル アカウント、「自己紹介」などのプロフィール セクションを編集できます。詳しくは KB10279. Employee Details: ソリューションの概要 を参照してください。

比較表

	Employee Directory	**Organizational Chart**	**Employee Details**
主な問い	必要な人は誰か?	会社はどのような構造か?	この人はどんな人か?
起点	検索ボックスと従業員の一覧	階層の最上位、または選択した上司とそのチーム	1 人の従業員: 現在のユーザー、選択したユーザー、またはページ アドレスで指定されたユーザー (`?user=`)
データ ソース	SharePoint ユーザー プロファイル (SharePoint 検索) または Microsoft Entra ID (Microsoft Graph)	Microsoft Entra ID (Microsoft Graph)、上司属性に基づく構造	Microsoft Entra ID、Microsoft 365、SharePoint ユーザー プロファイル (Microsoft Graph, SharePoint

	Employee Directory	**Organizational Chart**	**Employee Details**
			REST API)
レイアウト	詳細 (表) と 連絡先 (カード)、グループ化	横方向のツリーと縦方向のリスト	プロフィール ヘッダー、「概要」タブ、最大 8 つの追加タブ
検索とフィルター	検索、絞り込みパネル、クイック フィルター、お気に入り、スキル検索。Employee Directory (Entra ID) ではさらにフィルター エディター、除外設定、アルファベット順ナビゲーション	ツリー内の一致を強調表示する検索。除外用のトグルを備えた管理者用フィルター	なし - 表示されるのは 1 人です。上司、直属の部下、同僚を通じて移動します
従業員データの編集	いいえ (読み取り専用)	いいえ (読み取り専用)	はい - 従業員が自分のプロフィール セクションを編集します。役職、部署などのデータの変更は承認フローで申請できます
エクスポート	Excel	PDF と JPEG	連絡先カード (.vcf) と QR 名刺
Microsoft Teams	個人用アプリと チャネル タブ	個人用アプリと チャネル タブ	SharePoint ページのみ
代表的なページ	「同僚を探す」ページ、社員名	「会社概要」ページ、部署サイト	「マイ プロフィール」ページ、全従

	Employee Directory	**Organizational Chart**	**Employee Details**
	簿、ホーム ページの新入社員紹介		業員共通のプロフィール ページ

メモ

各製品は、委任された Microsoft Graph のアクセス許可と、サインインしているユーザーの権限を使用します。要求された Microsoft Graph のアクセス許可は、グローバル管理者が承認する必要があります。Employee Directory と Organizational Chart は従業員データを読み取ります。Employee Details では、Microsoft Graph と SharePoint の API を通じて、サインインしているユーザー自身のプロフィールを更新することもできます。

どの製品を選ぶか

目的	製品
名前、部署、オフィス、スキル、カスタム属性で同僚を探す	Employee Directory
絞り込んだ従業員の一覧をユーザーに提供し、Excel にエクスポートする	Employee Directory
イントラネットのホーム ページで新入社員を紹介する	Employee Directory (New Employees **Web** パーツ)
会社全体または 1 つの部署のレポートラインを表示する	Organizational Chart
新入社員が組織の中で自分とチームの位置を把握できるようにする	Organizational Chart
現在の組織構造を PDF や画像として印刷・共有する	Organizational Chart
従業員一人ひとりに、自分で最新の状	Employee Details

目的	製品
態に保つ個人ページを用意する	
ニュース投稿やチーム ページのリンクから、任意の同僚の詳細なプロフィールを開く	Employee Details

これらの目的が複数ある場合でも、製品どうしは重複せず互いに補完し合います。次のセクションを参照してください。

ヒント

Employee Directory 自体にも 2 つの名簿 Web パーツがあります。どちらを選ぶかについては KB10310. Employee Directory と Employee Directory (Entra ID) の比較: どちらの Web パーツを選ぶべきか を参照してください。名簿とプロフィール ページのより詳しい比較は KB10281. Employee Details と Employee Directory の違い にあります。

1 つのイントラネットでの組み合わせ

イントラネットの充実した従業員セクションは、多くの場合、製品ごとに 1 ページずつ、計 3 ページで構成されます。

1 Employee Directory を配置した **名簿ページ** - 同僚を探す場所です。ホーム ページには New Employees Web パーツを追加して、最近入社した人を紹介します。
2 Organizational Chart を配置した **組織ページ** - 会社の構造を表示します。部署サイトに部署ごとの組織図を置くこともできます。
3 ページ アドレスから従業員を取得するよう設定した Employee Details を配置した **プロフィール ページ** - 1 つのページですべての従業員に対応できます: `https://<tenant>.sharepoint.com/sites/<site>/SitePages/Profile.aspx?user=<user principal name>`。

ページの連携方法:

- Employee Details の設定で名簿ページのアドレスを指定します。すると、すべてのプロフィールのヘッダーに **従業員ディレクトリを開く** ボタンが表示されます。

- プロフィール ページのアドレス (`<page>?user=<user principal name>`) は、**ニュース投稿**、チーム ページ、オンボーディングのチェックリスト、メッセージなど、人へのあらゆるリンクに使用できます。
- 3 つのページをサイトまたはハブのナビゲーションに追加し、ユーザーが検索、組織構造、プロフィールの間を行き来できるようにします。



従業員ディレクトリを開く] ボタン

メモ

製品間の組み込みのリンクは、Employee Details の **従業員ディレクトリを開く** ボタンだけです。Employee Directory と Organizational Chart には Employee Details のページを開く設定はありません。Employee Directory ではユーザーを選択すると独自の詳細ウィンドウが開き、Organizational Chart ではカードをポイントすると標準の Microsoft 365 プロフィール カードが開きます。

Microsoft 365 の組み込みツールとの違い

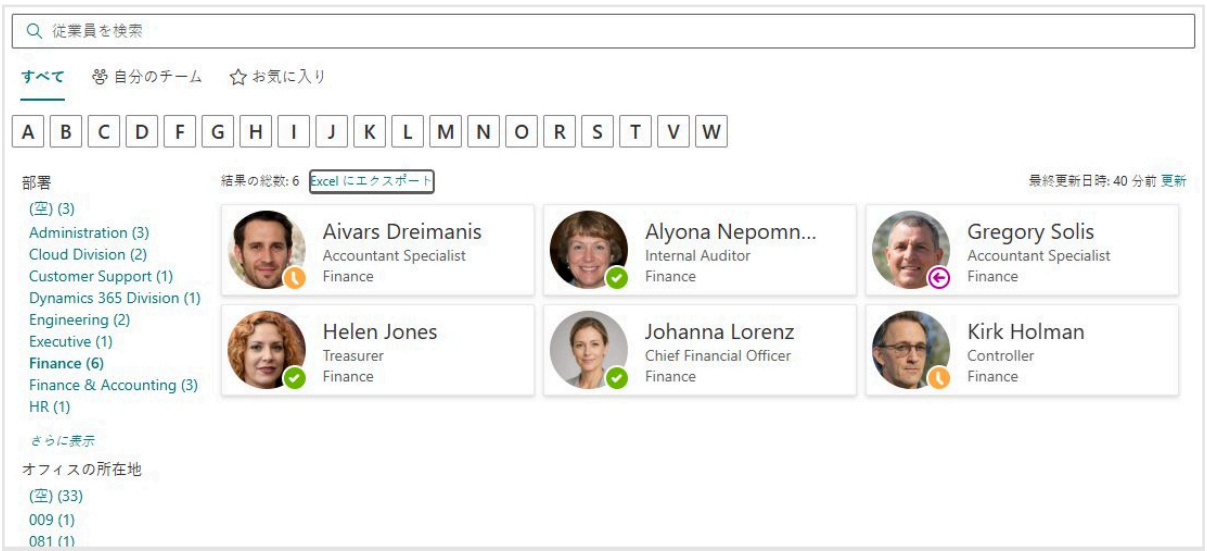
Microsoft 365 にも、同僚を探して情報を得るための機能がすでにあります。

- SharePoint と Microsoft 365 の **ユーザー検索** では、名前やその他のプロフィール情報で人を探せます。
- Outlook、Teams、SharePoint などのアプリで人の名前から開く **Microsoft 365 プロフィール カード** には、連絡先の詳細とレポート ライン上の位置が表示されます。
- **Microsoft Teams** では、その人のプロフィールに上司と直属の部下が表示されます。
- **SharePoint の「ユーザー」(People) Web パーツ** は、ページの作成者が手動で選んだ人の一覧を表示します。

ユーザーが探している相手をすでに知っていて、1 人の連絡先や上司だけが必要な

場合は、これらのツールで十分なことがよくあります。より多くの機能が必要な場合は、Vitextra 製品の導入を検討してください。

- **検索だけでなく閲覧もできる名簿** - 従業員の全一覧を **詳細** または **連絡先** レイアウトで表示し、**グループ化** を利用できます。Employee Directory (Entra ID) ではアルファベット順ナビゲーションも使えます。
- **フィルターと絞り込み** - 部署、オフィス、または構成した任意の属性による絞り込みパネル、クイック フィルター **自分の部署**、**自分のチーム**、**一緒に仕事をしている人**、**お気に入り**、スキル検索。
- **実在の従業員だけのすっきりした一覧** - 管理者はフィルターで名簿の対象を限定し、ライセンスのないアカウント、ブロックされたアカウント、情報が不完全なアカウントを除外できます。共有メールボックス、会議室、サービス　アカウントは表示されません。
- **Excel へのエクスポート** - 絞り込んだ一覧をスプレッドシートとして書き出し、レポートや共有に利用できます。
- **New Employees** - 最近入社した人を自動的に紹介します。一覧を手動で管理する必要はありません。
- **テナント全体の既定の構成を使える Microsoft Teams** - 同じ名簿や組織図を Teams の個人用アプリで利用できます。
- PDF または JPEG にエクスポートできる **会社全体の組織図** (Organizational Chart) と、**従業員が自分で管理する個人ページ** (Employee Details)。



Employee Directory の絞り込みパネル、クイック フィルター、Excel へのエクスポート

警告

Vitextra 製品は Microsoft 365 のデータを置き換えるものではなく、表示するものです。Employee Directory と Organizational Chart の正確さは、Microsoft Entra ID のプロフィールと SharePoint ユーザー プロファイルの正確さに左右されます。部署や上司が登録されていなければ、名簿にも組織図にも表示されません。

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Entra ID
Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、

用語

管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ

Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

ニュース投稿

ニュース投稿は、組織内の他のユーザーとお知らせ、状況の更新、ストーリーを共有するために使用される、[ニュース投稿] タイプのサイト ページです。ニュース投稿は、ニュース Web パーツと SharePoint スタート ページに表示されます。

ユーザー プロファイル

ユーザー プロファイルは、ユーザーを説明するプロパティのセットです。プロパティには、ユーザーに関する基本情報、連絡先の詳細、その他のデータが含まれます。ユーザー プロファイルは、Delve、マイ サイトなどのサービスで使用されます。

絞り込み

絞り込みは、検索結果ページのフィルターで、ファイルの種類、作成者、更新日などの管理プロパティの値で結果を絞り込むことができます。